



新しい朝

府中市立府中第十中学校
学校だより No.3
平成 30 年 6 月 19 日

集団の成長

校長 竹内 康裕

6月2日に行われた第39回運動会は晴天の下、約700名の皆様にご観覧いただき、たくさんの笑顔と共に終了することができました。暑い日差しのなか、昨年度に同窓会より寄贈していただいた大型テントに加え、府中第七小学校からテントをお借りし、生徒席は快適で涼しい日陰となりました。さらに今年度は日新小学校のご厚意でお借りしたたくさんのテントを保護者席後方に設置し、少しでも日差しの緩和を図ってみました。毎年、PTAの役員・委員・系の皆様には運営にご協力をいただいております。本校の運動会がたくさんの皆様に支えられて成功に導かれていることに、改めて感謝申し上げます。

開会の委員長挨拶、選手宣誓はとても立派でした。力強さ逞しさを感じました。速やかな行動、責任ある係活動、集合して競技を静かに待つ姿も立派でした。上級生を中心とした集団の一員としての自覚・マナーの高さを感じました。クラスで集まって気持ちを一つに気合いを入れる姿や声、生き生きとした笑顔に活力をもらいました。リレーなどで大きく差がつき、トラックをただ一人走ることになっても最後まで全力で走りぬこうとする心意気は人生の美学とでも言いましょうか、感動的でした。全てのことに對してこのような姿勢を生き方の理想にしたいと思いました。

学年が上がるにつれて様々な力は増し、考え方は深く広くなります。それが後に続く人たちの目標になります。次の年はそれを越えようとさらに後輩たちが頑張りと、集団はますます発展していきます。反対に、手本となるべき者たちが自分の利益や楽をすることだけを考え、手を抜いたり、いい加減な行為をしていたり、言い訳を繰り返しているようでは、後輩は目標を見出すことができず、集団の成長は無いばかりか逆行、荒廃となります。

運動会でのそれぞれの活躍が「良い伝統」として記憶にも記録にも引き継がれ、さらに発展していってくれることを願っています。また、日常生活のあらゆる場面でも、今回と同様に、「利他の思考と行動」、「最後まで全力」を続けて欲しいと願っています。そこにいる人たちが前向きで良い考えをもっている集団は必ず良くなります。集団が良いと、そこにいる人たちは必ず大きく成長します。運動会後の日常生活にも良い心意気が続くことを強く願っています。

保護者の皆様、地域の皆様、たくさんのご参観をありがとうございました。



■□ 第39回運動会 ■□

アンケートにご協力ありがとうございました。

<感想>

- 初めての運動会楽しませていただきました。規模は小さいけど、温かみがあったように思います。一生懸命さが素敵だと感じました！！（1年）
- 天気もかなり良く、気温も高くなりテントが設営してあったのは大助かりでした。保護者立見のスペースも確保してあり、様々な気配りがありがたかったです。（1年）
- どの種目も精一杯やっている姿に感動しました。中学生の時代にこういう経験ができることが今後成長する中で本当に貴重な宝物になると思います。そのような雰囲気築いて下さっている先生方の努力もはかりしれないと感謝しています。（1年）
- 応援合戦やダンスなどが無い分、各学年の競技をじっくりと観戦することができ、見応えのあるとてもよい運動会でした。各学年の団体競技では、男女一丸となって声をかけ合う姿が感動的でした。また男子1500m走のレース後、2位の3年生が1位の1年生に握手を求めていたと審判係をしていた娘から聞き、素晴らしいと思いました。（1年）
- 小学校と違い生徒が進んで運営していた事が良かった。（1年）
- 校庭での練習を毎日家から見てきました。大縄は1年生だけでなく、クラスが変わった2・3年生も新しい仲間と心を合わせるのに苦労していました。行進の練習では、正直とても心配していました。合同練習の際、校長先生が叱咤されていましたが、私も同じ気持ちで見っていました。今日の本番はよく頑張ったと思います。また大幅に部員の減った吹奏楽部の演奏も、石塚先生のもと、素晴らしい行進曲でした。全体的に静かな運動会でしたが、それも個性なのかと感じました。地域の者として、卒業生として、親として、また来年の運動会を楽しみにしています。（2年）
- 運動の得意な子、不得意な子が一緒になって行うクラス競技はいつ観ても楽しい。どうすれば勝てるかとみんなで作戦を練っている姿を想像するだけで楽しくなる。その作戦が成功したかどうかは分からないけれど、一位になりたいという目的に向かって活動した数週間はきっと充実していたんだろうと思う。来年も楽しみです。（2年）
- 天気に恵まれ、いい日で何よりでした。一心同体、最後にクラス全員で走るのが感動的でした。（2年）
- 今回はテントを用意していただき、暑さがしのげ、大変良かったと思います。個人的には委員でしたので、PTA席を利用でき、見やすく良かったです。制服リサイクルや大根販売も続けてほしいと思います。お疲れ様でした。（3年）
- 熱い戦いを見せてもらいました。各学年が今できる限りの頑張りをされていて見ている気持ち良かったです。運動会を機にクラス、学年、学校全体のつながりがさらに強まるとよいと思います。（3年）
- お世話になっております。今日は子供たちの成長した姿に感動しました。先生方のご指導の賜物と感謝します。最後まであきらめない姿勢、仲間と力を合わせてやりとげる姿がたくさん見られて、とてもよい運動会でした。ありがとうございました。（3年）

<意見>

- 表彰式の音源が吹奏楽部の生演奏だとおもしろいと思う。砂ぼこりが気になったので、スプリンクラーでなくても、タイミングを見て水まきした方がよかった。
- キャンプ用のイスを使用している方が多く、シートに座って見れなかったため、後方で使用してもらいたい。また、日よけテント内にイスを置いている人が多かった。
- 大縄とびの2組だけがはなれていて見にくかったのが残念。事前に場所を知らせてほしかった。

この他にも、正確な着順判定、リレー競技での女子の走る距離、障害物競走、PT競技の参加賞（お茶）などについてご意見をいただきました。今回は66枚のアンケートを回収させていただきました。来年度の運動会を企画する上での参考にさせていただきたいと思います。ありがとうございました

■□ 地域貢献プロジェクト委員会 ■□

十中の特色ある活動の一つに特別委員会があります。もともとは、東日本大震災の復興支援を目的として発足した委員会です。教育委員や十中のPTA会長もされていた松本良幸さんに畑をお借りして野菜を栽培し、収穫した野菜を販売した収益金を地域貢献に役立てる活動をしています。これまでは特別委員会という仮称で活動してきましたが、今年度から『地域貢献プロジェクト委員会』と命名し、活動をさらに発展させていきたいと考えています。

現在、23名の生徒が活動しています。中には、1年生のときから続けて活動を行っている生徒もいます。4/24(火)より今年度の活動がスタートしています。運動会で販売した大きく立派な大根はすぐに完売でした。また、昼休みに職員を対象に販売したトマトや枝豆、ジャガイモも大好評でした。職員では、影山先生と中村先生がこの活動を支援しています。

この貴重な活動を今後も継続し、発展させていくためには、保護者や地域の皆様との協力・連携が大切です。ご協力をよろしくお願いいたします。



<年間の活動予定>

4月～5月 野菜の種まき・植え付け、

6月～7月 野菜の収穫と販売

○朝（登校前）の野菜の収穫と販売…月・水・金曜日 7:30～8:00

○農園で収穫した野菜の袋詰め、販売所への設置 以降は販売所の無人販売。

○運動会での野菜販売（保護者対象）

○昼休みの野菜販売（教職員対象）…月・水・金曜日 13:05～13:15

○学校公開日の野菜（保護者対象）…学校公開のある土曜日

○西府文化センター祭りでの野菜販売…7月14日(土)

9月～12月 収益金で地域貢献活動 ※活動内容は生徒と相談の上で決定

※昨年度は、鳳仙寮へ車椅子等、西府文化センターへ遊具等を寄贈しました。

3月 大根、枝豆などの種まき



7/7(土)の学校公開日にも、保護者や地域の皆様を対象に野菜の販売を行います。きゅうり、なす、オクラ、インゲン、ジャガイモ、ミニトマト、枝豆等の販売を予定しています。ぜひ、お立ち寄りください。

■□ 相手の目を見る ■□

先日の朝礼で「相手の目を見て話す」「相手の目を見て挨拶する」ことの大切さについて話をしました。「目は口ほどに物を言う」という言葉があります。これは、人とコミュニケーションを取るときに、あえて口で言わなくても、目を見れば言いたいことが分かるとか、言葉を聞くよりも目を見た方が本心が分かるという意味です。このように、昔から、目を見ることの重要性が語り継がれてきたのです。心理学ではこれをアイ・コンタクトと言います。直訳すると目で接触する、つまり、相手の目を見て、会話するという意味です。

人によっては、相手の目を見たり、相手から見られることに強い緊張を感じてしまう人もいますが、それでも、自分を分かってもらうため、また、相手を分かりたいために、勇気を振り絞って相手に眼差しを届けることによって、コミュニケーションや相互理解が生まれるのです。



挨拶について振り返り、自己評価してみましょう。みなさんの挨拶のStepはどれくらいですか？

Step 1. 相手の目を見て、目を合わせて挨拶をしよう！

目を合わすだけでもなんとなく相手の気持ちを感じることがあります。挨拶する相手が大勢いる場合は一人一人の目を見ることは難しいかもしれませんが、最低でも顔をしっかりと相手に向けることが大切です。

Step 2. 気がついたら自分から先に挨拶をしよう！

朝、友達と会った時、学校内外を問わず先生や保護者、地域の方と会った時、お客様がいらっしゃった時など、自分から積極的に挨拶ができるようにしたいです。

Step 3. 相手にしっかり伝わる声の大きさを挨拶をしよう！

案外、自分が思っているほど声は出ていないものです。自分が「これぐらいかな」と思っているよりも大きな声で挨拶するよう心がけるとよいです。

Step 4. 心をこめて挨拶をしよう！

「感謝」「やる気」「努力」「共感」「謝罪」など、その場に応じて相手に伝えたい気持ちをこめて挨拶すると、表情も自然とその場にふさわしい表情になります。基本は、中学生らしく明るく元気な声と笑顔で挨拶することです。

Step 5. 正しい姿勢で挨拶をしよう！

背筋を伸ばして、きちんとお辞儀をする。歩いていたときでも一瞬でも足を止めて姿勢を正して挨拶できたらとても素晴らしいです。

また、挨拶は、**語先後礼**が基本です。「おはようございます」と言ってから、礼（お辞儀）をします。言葉で気持ちを伝えてから、姿で気持ちを示すのです。これは社会に出ても同じです。挨拶の基本をしっかりと身に付け、信頼される人、好感をもたれる人であってほしいと思います。

■□ 正しい受け答え ■□

2年生国語、上田先生の授業では、教科書の内容だけでなく、とても大切なことを教えてくれています。①挨拶の仕方「他のことをしながら挨拶しない。はい、やり直し。」 ②挙手の仕方「手をしっかり（肘を伸ばして）挙げなさい。」 ③発言の仕方「みんなに聞こえる声で発言しなさい。はいもう一度。」 ④失敗の報告の仕方「忘れ物をしたらきちんと名乗って報告しなさい。」 ⑤返事の仕方「(名前を呼ばれたら) しっかり返事をしなさい。」 ⑥意思表示の仕方「(いかが?) きちんと意思表示をしなさい。」 どれも大人の社会につながる大切なことです。身に付けてください。